



特別支援学校・小学校	音楽	全学年
------------	----	-----

ボタンシンセサイザー

伊勢原養護学校 教諭 竹野 大輔

本教具は、音楽科の授業で活用できる。電子音楽の特性を生かし、幅広く利用することができる。

例えば、和音の響きを味わわせるなら、弦楽器の持続音を利用する。

音色の違いをきかせるなら「山の音楽家」。ハンドベルを手に持つことができない生徒の代替楽器として。実物が手に入らない珍しい楽器を使った合奏など。

本教具のもう一つの特徴は、スイッチ部分の構造にある。1接点2回路の構造でスイッチを押すと同時に発光させることができる。また、作成時にリレーを使用していないため、発音にタイムラグがなく、音楽的演奏にも耐えうる教具となっている。通常の電子キーボード同様、持続音も可能である。

スイッチ部分は100円ショップのスイッチをベースに改造し、1つあたり400円の材料費である。(スイッチボックスは市販されているが、4系統で1~2万円と高額)

本教具の活用例

- 小学校通常2年生の「ドレミ」を学ぶ単元
- 特別支援中学部1年生の「山の音楽家」で音色を聴き比べる単元

○教材の作成方法については、「授業のタネ」の「教材紹介映像」のページをご覧ください。 <http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/tane/shoukai.html>

※教育雑誌に実践執筆 <http://www.meijitoshu.co.jp/detail/26148>

コンクールに応募・佳作 <http://www.nise.go.jp/cms/7,381,31,132.html>

